

みてみて！家庭学習ノート【藤沢中学校】

No. _____
Date _____

- 内閣総理大臣の任命し、以下は各省の長となる、内閣の構成員 → **国務大臣**
- と7人の国務大臣が出席し、内閣の方針などを決めるために開く会議 → **閣議**
- 内閣が国会の信任に基づいて成立し、国会に対して連帯して責任を負う仕組み → **議院内閣制**
- 内閣の行う行政が信頼できるとして、**衆議院**が行政を承認 → **内閣不信任の決議**
- 行政改革の取り組みの一つとして、**審判官**を任命して自由な経済活動を行うこと → **裁判官の任命**

(1) 条例 法
(2) 司法
(3) 裁判所
(4) 訴訟
(5) 上告
(6) 審判
(7) 司法権の独立
(8) 民事裁判
(9) 被告人 原告
(10) 被害者 被告
(11) 検察官
(12) 容疑者 検察官
(13) 被告人
(14) 裁判員制度
(15) 被害者参加制度
(16) 三審分立
(17) 国民審査
(18) 違憲審査制
(19) 門番 審判

・ 社会の中で、たくさんの人たちが共同で生活しているために必要となる社会的なルール → 法
・ 法に基づいて紛争を解決すること → 司法
・ 裁判が公正中立に行われるように、裁判を行うにあたって裁判所が国会や内閣などの外部からの影響を受けないこと → **司法権の独立**
・ 民事裁判... 訴えたい人 → 原告
訴えられた人 → 被告
・ 犯罪の捜査の段階で、罪を犯した疑いがある者 → **容疑者**
・ 刑事裁判で、検察官により裁判所に起訴されたもの → 被告人
・ 一般市民が重大な犯罪事件の裁判に参加し、裁判官とともに有罪・無罪や刑を定める制度 → **裁判員制度**
・ 被害者の保護を目的に、被害者に対して被害者参加制度
被告人や証人の質問などを行うことができる制度 → **被害者参加制度**
・ 最終的な裁判に対して国民の意見を求め、任命可否 → **国民審査**
・ 法律や命令、規則などが憲法に違反していないかを判断する → **違憲審査制**
・ 最高裁判所は最終的な審判を行う

No. _____
Date _____

(1) 自治 地方公共団体
(2) 市自治
(3) 自治の学校
(4) 地方分権
(5) 自治会 地方議会
(6) 条例
(7) 市長 首長
(8) 二元代表制
(9) 直接請求権
(10) リコール
(11) 地方債
(12) 地方交付税交付金
(13) 国庫支出金
(14) 地方債
(15) 合併 市町村
(16) 住民投票
(17) 住民投票
(18) 自治会
(19) 合併
(20) 市町村

・ 都道府県や市(区)町村 → 地方公共団体
・ 地方公共団体の長は、住民が選挙で選出される → **地方分権**
・ 地方公共団体の置かれる議会 → **地方議会**
・ 地方公共団体の特性に合わせて制定できる → **条例**
・ 市(区)町村や都道府県の長 → **首長**
・ 首長と地方議会議員という2種類の代表者、住民が選挙で選出する → **二元代表制**
・ 住民の政治参加のため、直接住民投票を取り入れた、住民に認められる権利 → **直接請求権**
・ 首長や地方議会議員の解職を求めること → **リコール**
・ 地方公共団体の財政格差を少なくするために国庫配分される財源 → **地方交付税交付金**
・ 指定の利用目的のために、国庫地方公共団体に交付される財源 → **国庫支出金**
・ 不足する財源の補充のため、地方公共団体が行う借入 → **地方債**
・ 財政の確保や業務の効率化を図り、市町村どうしを新しくする市町村合併 → **市町村合併**
・ その地域の重要な問題について、住民の意見を直接示す投票 → **住民投票**
・ 地方公共団体から独立した機関や個人が行政の適正な執行を監視し、必要に応じて改善を求める制度 → **オーストラリア制度**
・ 町内会や町会のように、住民が加入して地域活動を行う組織 → **自治会**

3年生家庭学習ノート
入試に向けて、問題を解き間違ったところについて解説を書き、理解を深めています。まとめるだけや問題を解くだけでなく、両立した学習を行っています。

<数> 式の計算

昨日のAゼミ: $(3x + 7y) + (2x + 5y) = 3x + 7y + 2x + 5y = 5x + 12y$

今日のAゼミ (練習)

$$\begin{array}{r} 3x + 7y \\ + 2x + 5y \\ \hline 5x + 12y \end{array}$$

昨日のBゼミ: $(4x + 6y) - (x + 6y - 5) = 4x + 6y - x - 6y + 5 = 3x + 5$

今日のBゼミ (練習)

$$\begin{array}{r} 4x + 6y \\ - (x + 6y - 5) \\ \hline 3x + 5 \end{array}$$

解説

① $5x + 12y$
② $3x + 5$

まとめ
同類項を縦にそろえて縦へ、同類項ごと計算する。
符号に気をつける。

<数> 連立方程式

速さ・時間・道のりに関する数量を整理する。

問題... 省略します。

背景

- わかっていること (全長50km, 自転車は時速20km + 歩行時速10km = 3時間完成予定)
- 求めたいこと (自転車は道のり、歩行は道のり)

図

表

	自転車	歩	全体
道のり	x	y	50km
速さ	20km/h	10km/h	
時間	$\frac{x}{20}$	$\frac{y}{10}$	3

式

$$\begin{cases} x + y = 50 & (1) \\ \frac{x}{20} + \frac{y}{10} = 3 & (2) \end{cases}$$

① $x + y = 50$
② $\frac{x}{20} + \frac{y}{10} = 3$
② × 20 → $\frac{20x}{20} + \frac{20y}{10} = 3 \times 20$
 $x + 2y = 60$
① - ② → $x + y - (x + 2y) = 50 - 60$
 $-y = -10$
 $y = 10$
①にy=10代入
 $x + 10 = 50$
 $x = 50 - 10$
 $x = 40$
 $(x, y) = (40, 10)$

まとめ
速さ・時間・道のり
図表に表すと良い。
①、②を使い。

自転車 40km
歩 10km

2年生家庭学習ノート
授業で取り扱った問題を丁寧に解き直しています。その中で見落としがちなる部分を、自分の言葉でポイントとして書き込むことで、さらに理解を深める学習にしています。